

## 13

## ブーメランのひみつをさぐろう

森山小学校 近藤 正二

## 1. ねらい

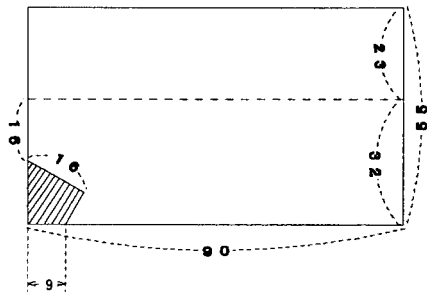
自分で作ったブーメランを本当に自分の手でキャッチできたときはとてもうれしいものです。ここでは室内でも飛ばせて、きれいに帰ってくるブーメランを紙で作りながら、飛行の原理などについて考えてみましょう。

## 2. 用意するもの

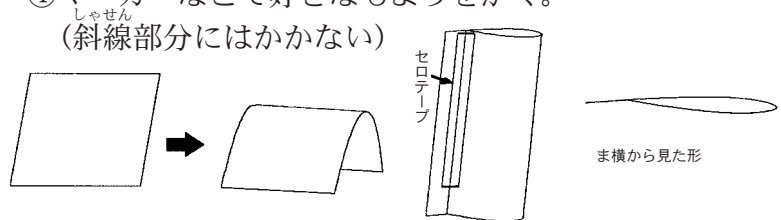
- ①製図用ケント紙（無い場合は官製葉書などの“コシ”のある紙）
- ②セロテープ
- ③はさみ、ものさし、えんぴつ、マーカーなど

## 3. 作り方

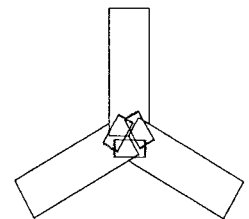
- ①下図のような長方形の紙を3まい作る。
- ②下図のように線を引く（この線は後の作業の目安になります）
- ③3まいとも②で引いた点線であり、裏でとめる。



- ④マーカーなどで好きなもようをかく。  
（斜線部分にはかかない）



- ⑤斜線部分をかくすように3まいを  
組み合わせて、表と裏をセロテープ  
でとめる。



## 4. 飛ばし方

- ①表が自分から見えるようにして、たてに持つ。このとき、ブーメランは少し外側に傾ける。
- ②うで全体に力を入れるのではなく、手首のスナップだけで投げるつもりで。
- ③うまく帰ってこないときは、「そり」や「ねじれ」を少しずつ調整していく。

## 5. わかること

ブーメランがもどってくる理由には「ジャイロ効果」などいくつか考えられていますが、つばさの断面が飛行機の翼のように「揚力」を生み出す形になっていることもあります。

6. 参考資料 「5年の科学」2002年9月号（協力：日本ブーメラン協会 先光吉伸）